



# 八鹿青溪



貫徹 慎独 創造  
養父市立八鹿青溪中学校 校報  
(令和6年4月19日) 第3号



学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」  
八鹿青溪中 HP

## 新入生オリエンテーション

4月10日(水) 11日(木)と新入生オリエンテーションを実施しました。



(目的)

- ①中学生としての自覚を持ち、集団訓練を通して中学校生活の基本を身につける。
- ②レクレーションを通して、お互いに協力しあうことや、尊敬しあうことを体験し、より良い友だち関係を構築する。
- ③中学生としての心構えを自覚し、中学校生活にはやく慣れて、意欲と希望を持って中学校生活がスタートできるようにする。

(内容)

### ◆4月10日(水)

- ・学級開き・生徒自己紹介、持ち物の名前確認
- ・学年職員自己紹介、オリエンテーションの意義、学校生活のきまりについて、校舎見学、委員長・副委員長・班長・副班長決定、給食について、テストの受け方について、学習規律・家庭学習について



### ◆4月11日(木)

- ・新入生テスト
- ・図書室の利用について
- ・集団行動訓練、集団行動発表会
- ・大縄大会
- ・校長の話
- ・部活動入部について
- ・部活動オリエンテーション



2日間にわたった新入生オリエンテーションによって、ひとりひとりの生徒の顔つきが中学生らしくなったように感じます。よって、「真の中学生」「真の八鹿青溪中生」に大きく近づいてくれたことを認めます。新しい仲間との出会いもあり、有意義なオリエンテーションだったと思います。

## 新入生歓迎のことば ※校報第2号の紙面の都合により掲載できませんでしたので、今号で掲載します。

春の暖かい風とともに、草木が色あざやかな美しい花を咲かせる、心地よい季節となりました。今日、新たなスタートラインに立たれる61名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの表情を見ていると、小学校とは違う大人数での集団生活で、どんな楽しいことや面白いことが待っているのだろうかという期待。一方で、勉強量が増えたり、部活動や委員会活動に参加したりと、今まで関わることの少なかったことに挑戦することへの不安を感じている人もいます。

僕も2年前、そんなことを考えながら、入学の日を迎えたことを思い出します。中学校に入ると、いろいろなことで自信をなくしてしまったり、一人ではどうしようもなく、困ってしまったりすることもあるでしょう。



そんな時は、今体育館にいる同級生の仲間たち、先生方、そして、皆さんの家族をぜひ頼ってください。僕もたくさんの人に支えられて、ここまで来ることができました。悩める後輩がいれば、僕たちが必ず支えます。みんなで一緒に良い学校生活を送れるように頑張っていきましょう。

さて、八鹿青溪中学校生徒の一員となった皆さんに、ぜひ実行してほしいことがあります。それは、「あいさつ」です。この学校では、特にあいさつに力を入れており、ろう下や外ですれ違った先生方や地域の方に自分から意識をして、あいさつをするように心がけています。元気よく張りのあるあいさつをすると、お互いが気持ちよく過ごせます。あいさつの仕方である「語先後礼」は、この八鹿青溪中学校区で、9年間を通して実践しています。これからも引き続き、頑張っていきましょう。あたり前のことがあたり前にできるこそが、大人になるための第一歩だと思います。これから始まる新しい生活は、最初のうちは慣れないことも多く、とまどうこともあるでしょう。ですが、まずは、自分からあいさつができる人になれるように行動していましょう。

ここで、ひとつ皆さんに伝えたい言葉があります。それは、お笑い芸人の志村けんさんの言葉「僕は何事にも、志村流でがんばってきたんだ」というものです。志村流とは、どんな壁にぶつかっても自分なりの努力の仕方でも乗り越えること、自分だからできる方法のことです。中学生になると、勉強面や部活動、また友人関係など様々な場面で、大きな壁にぶつかるが増えてきます。僕もいろいろな壁にぶつかってきました。でも、そんな時、僕は志村流ならぬ、佐藤流で乗り越えてきました。それは、決して一人で頑張れということではなく、自分流の中に周りの人に助けを求め、という選択肢を入れておけば大丈夫だということです。今、僕が言った自分ならではの壁の乗り越え方、皆さんならではの「自分流」を見つけることを心の片隅に置いておいてもらえると、僕は嬉しいです。

さあ、中学校生活のスタートです。僕たちは、皆さんが一日でも早く中学校に馴染めるように応援します。この長いようで短い3年間、勉強や部活動、生徒会活動など、何かに打ち込んだり、新しいことに挑戦したり、してみてください。かけがえのない3年間、一日一日を大切に生活していましょう。皆さんの、これからのご活躍を期待し、歓迎の言葉といたします

令和6年4月9日 在校生代表 佐藤 翔



## 4月の「草庵先生の教え」

今月の池田草庵先生の教えは「筆硯整齐（ひっけんせいせい）」です。「机に向かった時は筆や硯（すずり）をきちんと整える。食卓についたときはきちんと配膳すること。これら身近なことこそが、今すぐにできて、自分を作っていくための学問である。」という意味になります。つまり、人間は基礎・基本を大切にすることで成長することができるかと解釈することができます。これは、八鹿青溪中学校の生徒たちがめざしている「あたり前のことがあたり前にできる生徒になる」という考え方にも相通じる教えです。

4月 校訓 貫徹 慎独 創造

ひっけんせいせい

筆硯整齐

ふでばこなど、  
身のまわりのものを整えること。



八鹿青溪中学校では、郷土の偉人・池田草庵先生の数々の教えを月替わりで校内に掲示し、生徒へ紹介しています。